個別ゼミ概要（WEB掲示用）

作成日：2024 年 3 月 17 日

授業科目名	如水会寄附講義「如水ゼミ」			
ゼミ名	スポーツ・エンターテイメントビジネス			
講師幹事名	壁谷　周介		大学教員	全学共通教育センター長　南　裕子
学　期	2024 年(春夏)・秋冬	**開講時間**	水曜　４～５時限	

【授業の目的・到達目標】

今後の日本の成長産業であるスポーツビジネス。政府が 2016 年にまとめた「日本再興戦略 2016-第 4 次産業革命に向けて」の中で、名目 GDP600 兆円にむけた「官民戦略プロジェクト 10」が掲げられました。その 10 プロジェクトの一つとして、「スポーツの成長産業化」が盛り込まれ、スポーツの市場規模を 2015 年の 5.5 兆円から 2025 年までに 15 兆円に拡大するとの目標が掲げられています。
また、具体的施策として、次の 3 つの方向性が示されています。
① スタジアム・アリーナ改革（コストセンターからプロフィットセンターへ）
② スポーツコンテンツホルダーの経営力強化、新ビジネス創出の促進
③ スポーツ分野の産業競争力強化

この具体的施策の中心をプロスポーツビジネスが担っており、その中心にコンテンツホルダーがあり、それを支える周辺ビジネスが存在しています。

一方、エンターテイメントビジネスという切り口で考えると、映画、音楽、アミューズメントパーク、スポーツなど様々なジャンルがありますが、プロスポーツビジネスは音楽ビジネスと並んでライブエンタテイメントの代表的なビジネスの一つで、「好きなことを仕事にできる幸せ」を実感しやすい魅力的な職業です。このプロスポーツビジネスを含むスポーツビジネスのビジネス構造の基本的理解、スポーツビジネスに関わる様々なプレーヤーの理解、を通してスポーツビジネス、ライブエンタテイメントビジネスの魅力を感じてもらいたいと思います。
そして、他業界・他大学と比べると一橋卒業生の活躍が少ないスポーツビジネスを、一橋大学の学生がキャリアの選択肢として検討する一助となることを狙っています。
また、ソーシャルデータサイエンス学部を新設した一橋大学とスポーツビジネスの親和性は今後、益々、高まってくる環境にあります。スポーツビジネスにフィットする一橋の優秀な学生をスポーツビジネスに輩出していく一助を担いたいと思っています。

【上記目的・目標達成方法】
・ スポーツビジネスで異なる業務領域で知見・経験のある講師を招聘し、前提となる知識の提供を行います
・ 一橋ゼミの特性を活かし、講師がファシリテーターとなり、ディスカッション中心の講義を実施します
・ 講義の中にワークも取り入れて、ゼミ生の考える力を養えるようにします
・ ゼミ生同士のチームビルディング、チームで協働する力も養ってもらいます

【授業の内容と計画】

月日	講師名	卒年・学部・ゼミ・部活	社名・役職 （※役職は作成日現在）	講義内容
第 1 回 2024 年 4 月 24 日 @一橋	壁谷周介	平.14 商学部 楠木ゼミ	株式会社横浜 DeNA ベイスターズ 執行役員チーム統括本部副本部長 ソニー入社後、本社経営企画、事業部の経営企画管理業務を経験。ボストン コンサルティング グループを経て、2012 年、横浜 DeNA ベイスターズ入社。社長室長兼地域貢献室長、チーム企画室長、ファーム・育成部長、チーム戦略部長を歴任後、現在は副本部長として育成戦略、国際戦略、等を担う。	初回オリエンテーション ゼミ生のチームビルディング スポーツビジネスの構造

個別ゼミ概要（WEB掲示用）

第 2 回 2024 年 5 月 8 日 @博報堂 （赤坂）	木下陽介	平.13 商学部 伊藤邦ゼミ サッカー同好会	株式会社博報堂 統合マーケティングプラットフォーム推進室 室長 J リーグ全体やコンサドーレ札幌のマーケティング、スポーツデータ会社のデータスタジアムの取締役に従事。	スポーツマーケティング① ・ データサイエンスとスポーツ ・ J リーグ、J リーグクラブの事例より 講師のキャリア選択について
第 3 回 2024 年 5 月 22 日 @デロイト トーマツ ファイナンシャルアドバイザリー （丸の内）	太田和彦	平.19 商学部 松井ゼミ	デロイト トーマツ ファイナンシャルアドバイザリー合同会社 ライフサイエンスヘルスケアスポーツビジネスグループ ヴァイスプレジデント 住友不動産から英 L.E.K.コンサルティングを経て現職。サッカー・バスケットボール・ラグビーをはじめとした企業によるスポーツ・ヘルスケア投資・活用の支援業務、市場調査業務を中心に従事。	スポーツリーグビジネス ・ B リーグのビジネスモデルと展望 ・ 欧州サッカーリーグと J リーグのビジネスモデルの比較 講師のキャリア選択について
第 4 回 2024 年 5 月 29 日 @電通 （汐留）	菅野功司	平.15 商学部 松井ゼミ ラグビー部	株式会社電通　第 2 ビジネスプロデュース局アカウントリード 2 部　シニア・アカウントリード 電通入社後、テレビ局担当、営業を歴任。2016 より約 6 年、味の素に出向しスポーツx食のスポーツマーケティングを経験。リオ、平昌、東京の 3 つのオリンピックにおけるスポンサーマーケティングも経験	スポーツマーケティング② ・ 食品メーカーのスポーツ支援を通じた企業ブランド価値向上の在り方 講師のキャリア選択について
第 5 回 2024 年 6 月 19 日 @BCG （日本橋）	東海林一	昭.63 経済学部 石ゼミ ラグビー部	一般社団法人ジャパンラグビーリーグワン 専務理事 ボストン コンサルティング グループ シニア・アドバイザー 株式会社日本興業銀行（現みずほ銀行）、ボストン・コンサルティング・グループ、を経て現職。2015 年～19 年にラグビーワールドカップ 2019 組織委員会をプロボノとして支援	新プロリーグの立ち上げ ・ ジャパンラグビーリーグワンのビジョンとビジネス構造 講師のキャリア選択について
第 6 回 2024 年 6 月 26 日 @ソニー （品川）	原知彰	外部講師	ソニー株式会社 スポーツエンタテインメント事業部 スポーツビジネスソリューション部 放送局系の B2B 営業、国内 B2B 営業部門の事業企画、ロシア・中国での B2B の海外マーケティング及び営業企画を歴任。新規事業開発を経て、2016 年よりスポーツ事業を担当。	ソニーのスポーツビジネス ・ テクノロジーとスポーツ
	服部博憲	外部講師	ソニー株式会社 技術センター 主に放送局向けや監視カメラ向けの画像認識技術開発に従事。米国カーネギーメロン大学のロボティックス研究所研究員としての留学を経て、Computer Vision/Machine Learning の技術を活用したスポーツに対するソリューション開発を担当。	
第 7 回 2024 年 7 月 3 日 @横浜 DeNA ベイスターズ （関内）	壁谷周介	平.14 商学部 楠木ゼミ	株式会社横浜 DeNA ベイスターズ 執行役員チーム統括本部副本部長	横浜 DeNA ベイスターズの若手球団職員による仕事紹介等 横浜スタジアム、横浜 DeNA ベイスターズのオフィス見学（可能な範囲で、試合前の練習見学も含む）

個別ゼミ概要（WEB掲示用）

【テキスト・参考文献】
・ベイスターズ再建録（二宮寿朗、双葉社）